

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、西日本最高峰の石鎚山を中心に連なる山々や、世界でも有数の多島美を誇る瀬戸内海、変化に富んだ宇和海のリアス式海岸など、豊かな美しい自然環境に恵まれており、これらの貴重な財産を健全な姿で次の世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた極めて重要な責務であります。

このような中、本県では、第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」において、四つの目指すべき将来像の一つに、「調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”やさしい^{えがお}愛顔あふれる『えひめ』づくり」を掲げ、本県の豊かな自然環境を保全するとともに、環境と調和した安全・安心な暮らしや、自然と共生できるふるさと愛媛の実現を図っております。

具体的には、バイオマス活用の推進をはじめ、次世代環境リーダーの育成、家庭における省エネの促進、微量PCB絶縁油の安全・確実な処理といった、地球温暖化の防止と循環型社会の構築を目指したものに加え、生物多様性の保全に向けた普及啓発などの施策を進めているところです。

今後とも、こうした取り組みなどを通じ、県民のかけがえのない財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に努めて参りますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」は、県内の現状や各分野における施策を取りまとめたものであり、白書を通して、多くの方々の環境問題に対する関心が高まり、環境保全に向けた取り組みの一層の促進につながりますことを期待申し上げます。

平成 25 年 3 月

愛媛県知事 中村時広